



佐賀・嬉野温泉 旅館 大村屋

## Press Release

bouro

特徴その1

お子様からお年寄りまで食べやすいひとくちサイズの丸房露が1ケースに16個入っています。

bouro

特徴その2

小さくするとクッキーみたいに硬くなるのですが 一年かけて研究を重ね小さくてもしっとりとした丸房露の食感はそのまま!



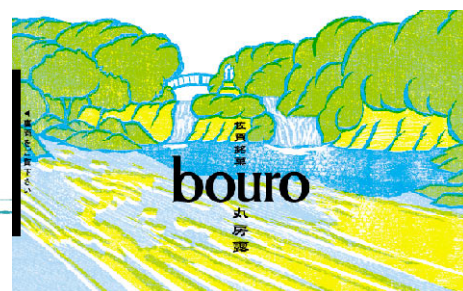
bouro

特徴その3

bouro のパッケージ上部の巻紙は嬉野や旅館をモチーフにした4種類のデザイン。それぞれ裏面は読み物になっており嬉野のことや佐賀のことを知ることができます。また巻紙自体が大村屋で使える大浴場半額券になっておりお土産にも最適です。



▲巻紙裏面  
嬉野の読み物 + 大浴場半額券



▲巻紙表面  
轟の滝モチーフ版画イラスト

bouro

特徴その4

移動中などにも食べやすい丸い筒型のパッケージ。

## 今後の展開

- 1) イートインセット bouro 単体はもちろん、糸切り羊羹をサンドして食べたりと一工夫して食せるセットメニューを大村屋ラウンジにて提供予定。
- 2) ギフトセット bouroと糸切り羊羹をセットにしたギフトセットを提供予定。



## 大村屋とは

旅館大村屋は江戸時代、大村藩の脇本陣として生まれました。創業は文化二年以前と推測されますが大正十一年の嬉野の大火で大切な宿帳は消失してしまいました。その後「天保元年」の印がついた敷石が出てきたことから創業を天保元年としています。近年は「湯上りを音楽と本で楽しむ宿」をコンセプトに様々な取り組みを仕掛けています。

## 鶴屋とは

寛永十六年（1639年）、徳川三代将軍家光公の治世の下、「鶴屋」は佐賀三十六万石の城下町に創業しました。初代善右衛門が佐賀藩城主鍋島公より御用菓子司を仰せつかり以来三八十年その暖簾を現在に至るまで守り続けています。佐賀出身の明治の元勳、大隈重信侯が愛したという逸話も残る佐賀県を代表する銘菓「丸房露」の元祖でもあります。

ディレクション：高塚裕子(有田 bowl)、デザイン：長尾行平(ユキヒラ・デザイン事務所)、写真：藤本幸一郎

本プロジェクトへのお問い合わせ

旅館大村屋 代表取締役 北川健太 TEL 0954-43-1234 info@oomuraya.co.jp FAX 0954-42-1051

※取材頂いた媒体様には試食用として bouro をプレゼントさせていただきます。